者に対して、咳嗽を助長する目的でＧＰＢを使用した。ＧＰＢを行なうことによって、一部PMD患者で咳嗽が容易になるという患者がいるために、spirometryによってpeak expiratory flowがＧＰＢによってどのように変るかをみた。

患者は８人の成人ＰＭＤの末期で、いづれも呼吸機能の高度に低下しているものに、ＧＰＢを修得させ、％肺活量、％peak expiratory flow を測定比較した。

成績は以下の如くである。

Pt.No	Sex	Age	%VC	%GPB	%Peak Expiratory Flow	
					Unassisted	GPB
1	M	20	10	60	16	46
2	M	21	9	64	21	66
3	M	19	18	76	28	42
4	M	24	12	22	22	26
5	F	33	24	50	10	24
6	F	29	16	54	22	42
7	M	30	46	50	48	52
8	M	27	32	73	54	89

以上の結果からＧＰＢは成人のＰＭＤの末期の呼吸機能の低下による咳嗽困難に対してpeak expiratory flow の増加によって咳嗽の機構を強化するものと思われる。しかしこのものは正常の咳嗽とは異なるものである。しかし患者は自覚的に咳嗽が楽になったと訴えるものが多く、ＰＭＤによる呼吸不全で咳嗽困難なものに対してＧＰＢは、咳嗽補助手段として使用できるものと思われる。

11) 超音波血流計による筋ジストロフィー症四肢血流量の測定

国立療養所箱根病院
中村正敏　米谷俊郎
村上慶郎　久保義信

最近Duchenne PMDのVascular Theory が述べられているがこれを否定する意見も多い。Engelらは血小板セロトニンのuptakeの異常を述べており、私共も同様な成績を得ている。又、DemosらはArm-TongueのCirculation Timo のSlownessを報告している。

私共は今回、超音波Doppler 血流計により、このような循環異常がPMD患者の四肢に存在するかどうかを調べた。

対象患者は国療箱根病院に入院または外来通院のPMDおよびその類似疾患22名である。男子15例女子7例、年令は12才から56才までで、内訳はDuchenne PMD 5例、FSH-PMD 3例、LG PMD 3例、クーゲルベルグ．ベーランダー病6例、多発生筋炎2例、シャルコー・マリー病1例、筋萎縮性側索硬化症2例であった。測定血管は上肢では、A・brachialis，A・radialis 下肢では、A. femoralis，A. dorsalis pedis について、安静時に行なった。

成績はDuchenne PMD、FSH-PMD、LG-PMDでは血流抵抗は略正常であった。クーゲルベルグ．ベーランダー病、多発性筋炎、筋萎縮性側索硬化症ではいづれも血流抵抗は増大の傾向にあったが有意ではなかった。又、シャルコー・マリー病の1例では下肢の血流抵抗の増大が認められた。

以上小数例であるので結論としてはいえないが、筋原性のものは正常で、神経原性のものは血流抵抗の増大の傾向にあるが、更に症例を重ね、また筋萎縮の進行によっても検索の必要があるものと思われる。

(2) 進行性筋ジストロフィー症に於ける免疫学的側面の検討 ― 液性免疫を中心として ―

国立新潟療養所
湯浅龍彦　片桐　忠　文田明仙
桜川宣夫　川瀬康裕　熊本俊秀
高沢直之

＜緒　言＞

進行性筋ジストロフィー症（以下PMDと略す）、特にDuchenne型 PMDの死因の上位は、心不全と呼吸器感染症で占められている。従ってこれらに対する日常の管理が重要となるが、感染予防に関しては一定の目安がない。私共は昨年度からPMD患児の免疫学的側面を検討して来たが、今回は液性免疫能につき検索したので結果を報告する。

＜対象及び方法＞

昨年度DNCBテストを施行したPMD患児の中から結果が強陽性であった9例と、弱陽性1例を含む陰性例9例を対象とした。両群で、血清総蛋白、γ－グロブリン値、免疫グロブリン（IgG，IgA，IgM）、血清補体価（C_4，C_3）を測定し比較検討した。

＜結　果＞

DNCB陽性群と陰性群の年令構成に差はなかった。両群の平均体重は、陰性群に於て低値を示したが、ADLは差がないが、むしろ陰性群が高値を示した（図1）。

検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

最近 Duchenne PMD の Vascular Theory が述べられているがこれを否定する意見も多い。Engel らは血小板セロトニン)upt ake の異常を述べており、私共も同様な成績を得ている。又、Demos らは Arm-Tongue の Circulation Timo の Slowness を報告している。